(みやざき農業人材確保支援会議)

事業実施期間令和3年度~令和4年度 (宮崎県)

令和4年度 農業労働力確保 支援事業

労働力不足の解消に向け、無料職業紹介所の活用や農作業請負による短期就労を推進しているが、マッチング数が伸び悩んでいる。また、 法人による雇用人材の採用方法については、ハローワークや知人からの紹介等が多く、希望する人材の確保に至っていない。 そのため、これまで行ってきた労働力確保の課題と各種手法を一体的に推進するため、以下の取組を実施した。

- ① 無料職業紹介所のWEB登録システムの活用
- ② 協議会ホームページを活用した人材確保手法の一体的な情報発信

事業実施主体構成員

宮崎県(事務局) 宮崎県農業協同組合中央会 宮崎県農業法人経営者協会 宮崎県農業会議 宮崎県農業振興公社 宮崎県農業再生協議会

実績値(目標値)

- ①法人における新規雇用者数 (実績値) 313人 (目標値:300人)
- ②短期就労人材を活用する経営体数(実績値)26経営体(目標値:21経営 ・ 体)

令和4年度取組み内容

今年度の取組み内容

ア 労働力の需給状況の把握(地域の状況及び労働力提供可能な者の把握等)

- ・令和4年1月1日時点での県内の全農業法人を対象に、雇用人材に関する調査を実施。(対象:886法人) 350法人において人材不足であると回答があり、その人数の合計は、1,079名。
- ・引き続き、令和5年1月1日時点での県内の全農業法人を対象に、雇用人材に関する調査を実施中。(対象:約900法人)
- ・4地域において雇用実態調査を実施。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、23経営体、17名の雇用者への調査に留まっている。
- ・アンケートの結果、求職者の採用活動は、ハローワークの活用や、知人等の紹介が約5割と依然高く、約3割が予定した人数の採用に至っていない状況であった。一方で、被雇用者の結果では、満足している人が多く、仕事へのやりがいや休日の確保等がその要因であることがわかった。

イ 労働力の確保・育成(情報発信等)

- ・協議会ホームページ「みやざき援農」をリニューアル。これまでの人材確保の取組を一元化した内容に改修
- ・各地域の取組や行政、JAの情報にリンクできるようにプラットフォーム化に改修。
- ・今後取組を推進する雇用マッチングアプリや「91農業」の活用に向けた紹介ページも新設。
- ・ J A 無料職業紹介所において、マッチング効率向上の実証を実施。登録者数やマッチング数が増加したものの、認知度の向上やW E B 媒体活用のさらなる推進が必要となる。

令和4年度 農業労働力確保 支援事業

今年度の取組み内容

ウ 労働力等のマッチング及びデーターベース化

・宮崎県農業経営者協会 (無料職業紹介所) において、雇用マッチングシステムを構築し、短期就労人材、農福連携、外国人材等も含めた総合的な人材マッチングを行うための体制を2月に構築。本システムにより、法人の雇用に関するデータベース化も図る

エ 農業の「働き方改革」への取組み (課題調査及びセミナー開催等)

- ・山形県におけるデイワークを活用した雇用対策、副業対策について調査研修を実施
- ・茨城県における経営改善(労務管理等)に向けた関係機関の連携体制について調査研修を実施
- ・関係機関との連絡会議については随時実施し、労働力確保支援コーディネーター研修会を11月1日に実施し、労働力確保に向けた相 談等の手法について研修を実施した。
- ・宮崎県農業協同組合中央会及び宮崎県農業法人経営者協会が主催する研修会において、労働力チャンネルの紹介や法人雇用に向けた労務 管理等の研修会を実施。

オ 他産地・他産業との連携による労働力確保

・短期就労人材に対して、作業前に動画による研修資料を活用した事前研修を実施。オシゴト説明会の代替として、ひとり親福祉連合会や更生保護法人へ短期就労に関する情報提供を実施。

令和4年度 農業労働力確保 支援事業

本事業取組みにおける成果項目

・農業人材の確保に向けたWEB化やデジタル媒体の活用が増え、若い世代では徐々にアプリの活用等が見られている。 そのため、さらなる推進を図るため、県単事業で以下の事業を創出した。

次年度以降の取組み内容

県単事業

「農業雇用人材マッチング促進事業」

- ・マッチングアプリや「91農業」の活用に向けた実証等を実施
- ・雇用人材が定着しやすい環境整備や簡易宿舎等 の整備
- ・農福連携技術支援者の育成 等



- ・新たな求人手法を活用した雇用人材の確保
- ・交流人材や短期就労者が気持ち良く働ける環境 整備の実施。
- ・農福連携の取組推進

県内法人の雇用者数(R4→7) 10,795人→13,500人

